

第2回国内汚染防止安全部会議事録

日時：平成16年6月1日（火） 午後3時～5：15

場所：海洋研究開発機構 東京事務所役員会議室

出席委員：森田信男、鎮守次郎、棚橋学、加藤 進、古谷昭人、渡辺俊樹、松岡俊文、斉藤孝雄

オブザーバー：鈴木宇耕、養老民雄、川村善久、小林照明、倉本真一

コンソーシアム：佐柳敬造、斎藤実篤

事務局：山川 稔

議事内容：

1. 新委員の報告〔渡辺俊樹助教授：国内および国際 PPSP 委員および承認
斉藤孝雄様：国内汚染防止安全部会委員および CDEX から国際 PPSP に常に参加予定
京都大学松岡様は国内委員として遺留）

* 松岡さんは国内委員として遺留、国際委員としては Alternate として他の委員が欠席するとき参加可能なら参加する

* 渡辺さんは国内委員・国際委員として松岡さんの代わりに承認された

* 斉藤さんは国内委員として承認された。

2. 報告事項

(A) PPSP および其の国際的位置づけ (EPSP に名前が変わる予定)

Environmental Protection and Safety Panel. 鈴木宇耕

鈴木さんに新しい名前である EPSP の組織内での位置づけについて説明をお願いした。

国際委員会が PPSP から EPSP (Environmental Protection and Safety Panel) に名前変更があったため、国内部会も汚染防止安全専門部会から環境保全安全専門部会に名前変更を行うことに委員が承認、理事会に報告する

3. 審議事項

* P P S P、国内汚染防止安全部会の委員の本業が多忙になったときの役割分担

* 国内汚染防止安全部会委員の増加についてー もっと国内委員は幅広く増加

したほうがよいという意見が出ております。

この部会はサポートグループなので国内委員会・国際委員会の抱き合わせでない委員の

なり手が少ない。しかし CDEX、Operation Group から国内委員になってもよいという人材がいたら定員の 10 人までは進んで増員をおこなう事で委員が了解。

- * 次回国際 P P S P の議題について〔Proposal 512,519,543、SHALDRIL）
次回の国際委員会の Proposal は環境保全安全の観点からあまり問題ではない。

- * **EPSP Mandate** Barry Katz

Chairman の提案した Mandate は不完全であるが他の委員会から苦情がでるまでアクションはとらない。

- * 齊藤孝雄さんの説明

4 . NanTroSEIZE Project Scoping Group 倉本

倉本さんから NanTroSEIZU PSG の説明があった。森田は EPSP から Watch Dog の責任を負っているなのでこの PSG には進んで参加する予定であるが、6 月 23 日に Collage Station で行われるこの委員会の説明会には国内環境保全安全専門部会の委員は全員出席できない。